

埴生小学校保護者 様

埴生小学校長 西澤 真一

### 学校評価アンケートの結果について

二学期末に行った学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見やご要望を全職員で共有しながら、今後に向けた改善の方向を考えました。子どもたちのよりよい成長に向けて、学校・家庭・地域の連携を一層深めながら努力していきたいと思ひます。今後とも本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。

本年度はアンケートの全項目について、児童・保護者・職員別にグラフに表しました。ここでは特徴的に表れていると思われる事について記させていただきます。

※提出者数 児童 575名、保護者 378名、職員 26名、計 979名

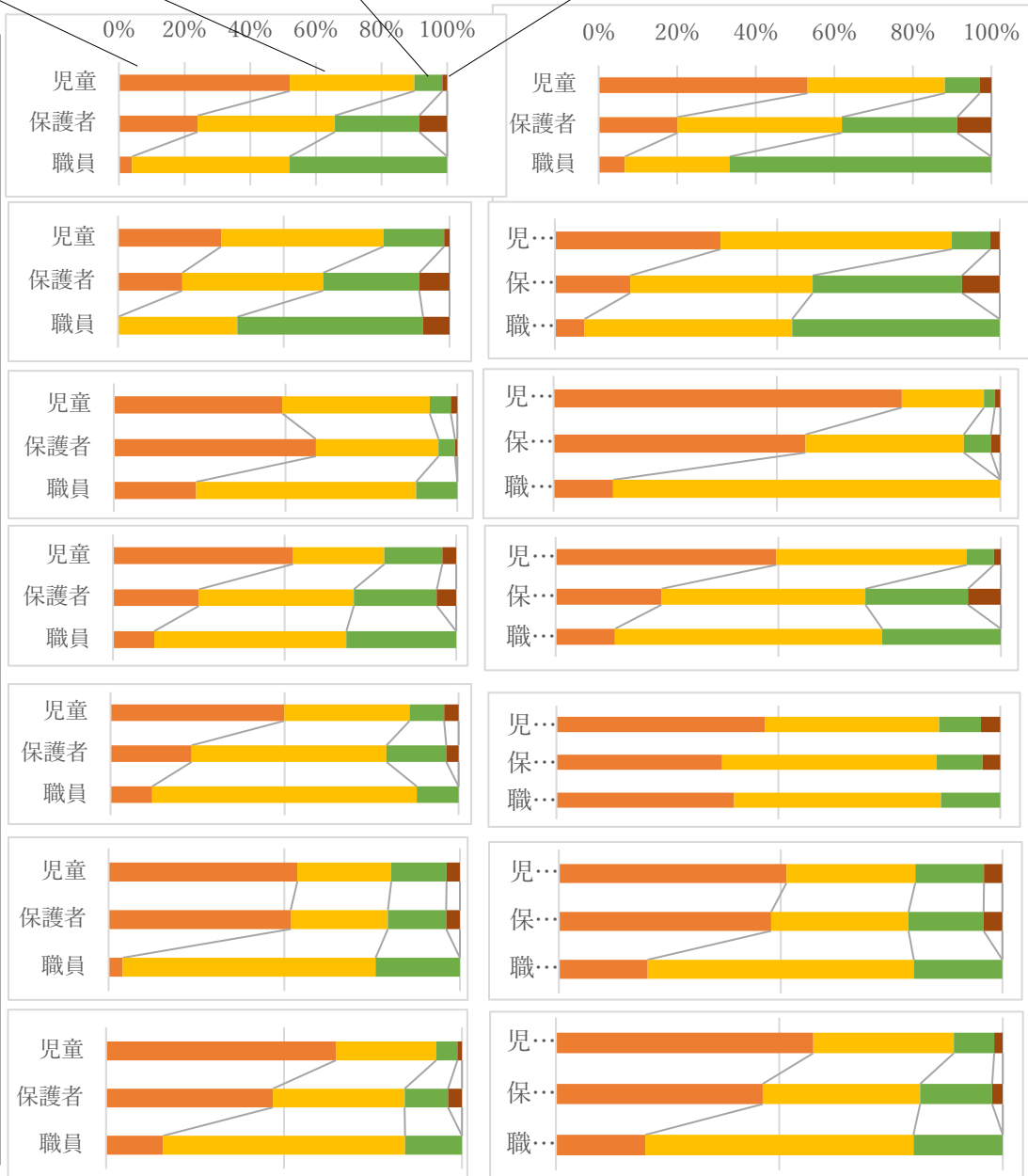
#### 1. 学校の重点活動について

R6 年度

R7 年度

棒グラフの左から A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

- 1-(1) 子どもは、友だちや近所の人に、自分から元気にあいさつをすることができる。
- 1-(2) 子どもは、家の手伝いを進んでやっている。
- 1-(3) 子どもは、友だちと仲良くし、楽しく遊んでいる。
- 1-(4) 子どもは、学習に進んで取り組んでいる。
- 1-(5) 職員は、授業内容や教え方がより良くなるように取り組んでいる。
- 1-(6) 子どもは、体を動かしたり、スポーツに親しもうとしたりしている。
- 1-(7) 子どもは、音楽に関心をもち、親しんでいる。



## ○ 本校の強みと成果:良好な人間関係と授業改善への評価

今回の評価で、児童・保護者・職員の三者ともに最も肯定的な評価となったのは「子どもは、友だちと仲良く、楽しく遊んでいる」という項目でした。

- **友だち関係の充実:** 昨年度からの良い傾向が続いており、特に今年度は児童自身の肯定的な評価が大きく伸びています。互いに仲良く関わりながら学校生活を送る姿が多く見られます。
  - **教職員の取り組みへの評価:** 「職員は授業内容や教え方がよりよくなるように取り組んでいる」という項目も、三者ともに高い数値を示しました。ICTの活用や、ペア・グループ学習を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」への改善が、子どもたちの学習意欲の向上に繋がりはじめられています。
- 

## ○ 基本的な生活習慣:あいさつとお手伝い

生活習慣については、学校と家庭、地域での評価に少し違いが見られました。

- **あいさつの励行:** 児童は「自分からできている」と自覚していますが、大人からは「声が小さい」「もっと進んでしてほしい」と感じられる傾向があります。地域の見守り隊の方からも「もっと挨拶があると嬉しい」との声をいただいています。まずは大人(教師も)から積極的に声をかけ、地域全体に明るいあいさつを響かせていきたいと考えています。
  - **家庭でのお手伝い:** 全項目の中で保護者の評価が低かったのが「家の手伝い」でした。お手伝いは、家族の役に立っているという「自信」や、物事をやり遂げる「意志の強さ」を育みます。学校でも係活動等を通して責任感を養っていますが、ぜひご家庭でも「これならできそう」という役割を話し合ってみてください。
- 

## ○ 学習と心身の成長への取り組み

子どもたちが主体的に学び、健やかに成長できるよう、以下の点に注力しています。

- **主体的な学び:** ICT機器を活用した授業改善や、グループ学習などの工夫を継続しています。教師側からのアプローチだけでなく、子どもたちの「学びたい」という声に耳を傾け、より意欲を高める授業づくりを進めます。
  - **体力とスポーツ:** 運動を好む子とそうでない子の「二極化」が見られ、休み時間を教室内で過ごす児童も増えています。体を動かす楽しさを伝え、生涯にわたってスポーツに親しめる基礎を大切にしていきます。
  - **豊かな情操(音楽):** 音楽を楽しむ指導を大切にしていますが、中には歌唱や楽器操作に苦手意識を持つ児童もいます。一人ひとりの気持ちに寄り添い、表現する喜びを感じられるよう支援を続けてまいります。
-

## 2. 学校全般について

R6 年度

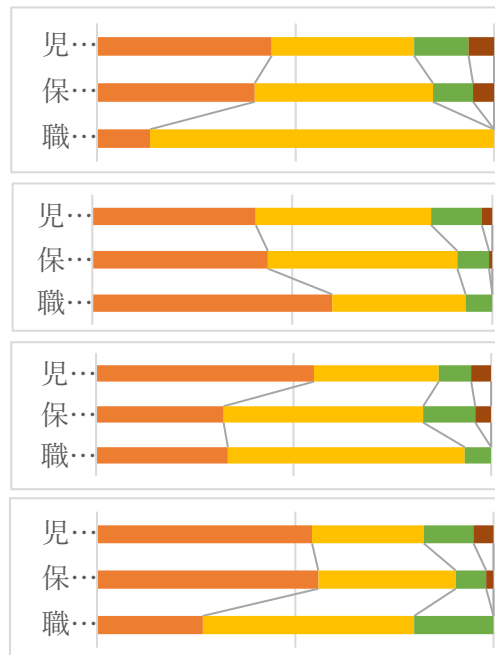
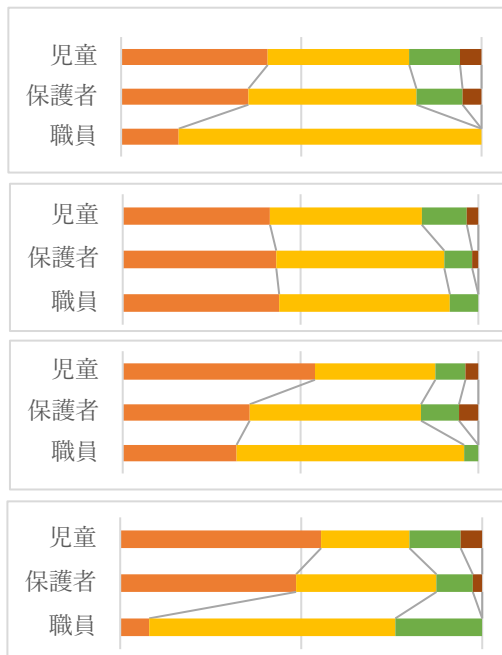
R7 年度

2-(1) 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。

2-(2) 子どもは、登下校や校内生活の安全面について、きまりを守っている。

2-(3) 職員は、子どもを理解し指導にあっている。

2-(4) 学校だよりや学年通信は、子どもとのコミュニケーションに役立っている。



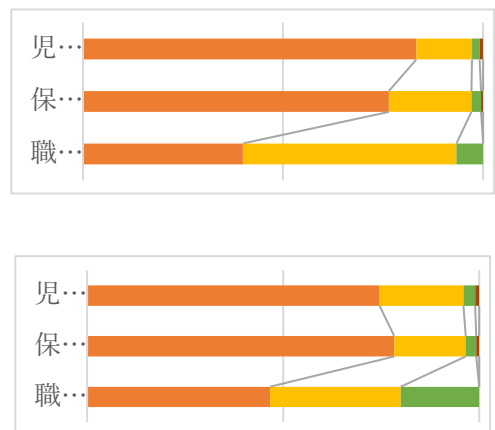
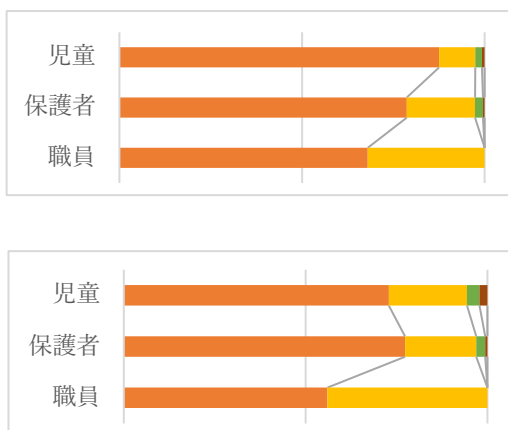
## 3. 学校行事・その他について

R6 年度

R7 年度

3-(1) 運動会や音楽会などの行事が、子どもの心身の成長につながる行事になっている。

3-(2) 子どもは、学年の行事を楽しみに取り組んでいる。  
(社会見学・遠足・田畑での栽培活動など)



### ○ 学校生活の充実と一人ひとりに寄り添った支援

アンケートの結果、多くの児童が学校に通うことを楽しみにしていることが分かりました。一方で、中には登校を渋る様子が見られる児童もあり、その対応に苦慮されている声も届いております。学校としては、すべての児童が前向きに登校できるよう、以下の点に努めてまいります。

- 日々の学習活動を工夫し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを進めます。
- 職員が児童の様子を注視し、悩みや思いを「子供の目線」でしっかりと受け止めます。
- 保護者の皆様との連絡を大切に、一人ひとりに合わせた細やかな支援を目指します。

---

## ○ 登下校の安全確保と交通マナーの向上(重要)

安全面に関する評価は昨年度と同様でしたが、地域住民の皆様や保護者の皆様から、具体的な危険箇所やマナーについてのご指摘をいただいております。

- **地域からの声:**「道に広がって歩いていて危ない」「通学路ではない場所を通っている」といったご指摘がありました。
- **保護者からの声:**「話に夢中になっていて周囲への注意が散漫」「注意してもなかなか改善されない」といった不安の声が寄せられています。

学校では、登下校の歩き方や自転車の乗り方、不審者への対応について繰り返し指導を行ってまいります。ご家庭におかれましても、お子様の命を守るため、「一列で歩く」「交通ルールを守る」ことの大切さを日々の声掛けの中でぜひお伝えください。

---

## ○ 学校行事のあり方と子供たちの成長

運動会や音楽会などは、児童・保護者・職員のいずれからも「心身の成長につながる行事」として高い評価となりました。

- 行事は大きな楽しみである一方、準備による多忙さや、児童によっては「行きたくない」と感じる原因になるケースも見受けられます。
- 今後は、行事の量や内容が適切であるかを振り返り、児童の心身の状況に合わせた参加方法や実施形態についても検討してまいります。

---

## ○ 職員の指導のあり方とコミュニケーションについて

職員による児童の理解や指導方法について、一部で厳しい評価をいただいたことを真摯に受け止めております。

- 「大きな声での指導」や「一方的な注意」についてのご意見を重く受け止め、アンガーマネジメントや児童理解に関する研修を全職員で継続して行います。
- 指導の際は児童の言い分を丁寧に聞き、適切な言動を振り返り、信頼関係の構築に努めます。
- 学校だよりや学年通信等を通じ、ご家庭との情報共有をより密に図ってまいります。

---

## ○ その他の改善要望について

その他、「クロームブックの使い方と書くことのバランス」「授業中の落ち着いた環境づくり」「夏季休業中の課題」など、多岐にわたる貴重なご意見をいただきました。これらの課題についても、今できる改善策を一つずつ検討し、より良い教育環境を整えていく所存です。今後とも、お子様の健やかな成長のため、学校と家庭で手を携えて歩んでいければ幸いです。今後もお気づきの点、お子様の学校生活で心配なこと等ありましたら、学校へご相談ください

---